



経法祭期間中には毎年たくさんの方々がこのテントを訪れ、おおいに懇親を深めています。

昨年は、母校の発展ぶりをみたいと高知支部から支部役員が団体で訪問し大歓迎を受けました。今年はいよいよ、ほかの支部も母校訪問の企画が進む可能性があります。

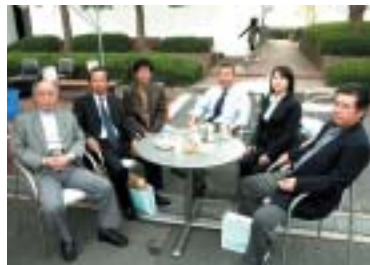
11/7(金)~
11/9(日)

経法祭が開催されます

今年も家族連れで母校を訪れよう

学生の大イベント経法祭が11月7日(金)~9日(日)の3日間の日程(7日は前夜祭で開催されます。校友会としても例年、在学生に対する校友会のアピールと経法祭を機会に母校を訪れる校友の憩いの場を提供するために、積極的に協力参加しています。正門を入ってすぐ右手にあるブルーのテントが目印です。このテントの下で種々の楽しい企画を行っています。

今年も、餅つき大会やぜんざいポップコーンの販売、地域支部による物産店を出すなど、卒業生とその家族、在学生、教職員、地元住民との交流できるよう、盛りだくさんな企画を実施する予定です。また、校友会による模擬店審査で賞金を出すなどの協力を行います。



校友会では、経法祭期間をホームカミングデーとして位置づけ、校友が懐かしいキャンパスに集い、交流を深めることができるよう準備を進めています。家族連れ、友人を誘って、ぜひ母校に遊びに来てください。また、女性会員には模擬店で利用できる金券のプレゼントなどの特典を用意しています。詳細については、校友会ホームページに掲載(10月中旬予定)しますので、ご覧ください。

校友会ホームページを校友と校友会のコミュニケーションの場に

校友会はホームページ(校友会ホームページは、大阪経済法科大学ホームページのトップページ「卒業生の方へ」から入ります)を校友と校友会の双方向コミュニケーションの場として積極的に活用しています。

校友会ホームページのトップページでは、学歌「白き学舎に」を聞くことができます。「活動報告及び行事予定」には校友会の最新情報やそれぞれの校友会事業の様子などを掲載しています。また、校友の近況報告や校友会事業に対する要望などを「校友会掲示板」を通じてぜひお寄せ下さい。



女性部会からのお知らせ

女性校友のみなさんには、経法祭に参加して、校友会企画にご協力くださるようお願いいたします。ご協力いただいた女性校友には模擬店で使用するチケットや記念品など、さまざまな特典があります。

また、女性部会では2月の『女性校友の集い』に続き、女性校友が多く集まれるような新しいイベントを企画中です。企画内容がまとも次第、連絡しますので、是非多数の参加をお願いします。



OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS AND LAW

校友会報

NO.13

大阪経済法科大学・校友会報・13号
Eメールアドレス:kouyuukai@keiho-u.ac.jp
編集 / 大阪経済法科大学校友会事務局
〒581-8511
大阪府八尾市楽音寺6丁目10番地
TEL・FAX 072・941・8268

校友会報・13号 2008年10月1日発行



CONTENTS

- 第10回校友会総会 懇親会
- 第3回全国支部長会議
- 2008年度校友会事業計画
- 支部だより
- 母校の近況
- 活躍する卒業生
- 経法祭案内

第10回 校友会総会・懇親会



酷暑の中、全国から170名が参加し、 第10回大阪経済法科大学校友会総会開催さる

今年も恒例の第10回大阪経済法科大学校友会総会が、7月19日ホテルニューオータニ大阪で開催された。昨年より8日早い梅雨明け宣言の出た大阪は、最高気温34.2度というまさに酷暑の中、総会では全国から昨年より多い校友が参加し、教職員・在学生を合わせて170名の参加者が会場に集まった。

中津広志常任幹事の司会進行のもと、午後4時に開会した第10回校友会総会では、冒頭、伴井敬司校友会会長が挨拶を述べられた後、藤本和貴夫学長から挨拶を兼ねて、大学の近況ならびに今後の大学の方向性について、PowerPoint(パワーポイント)を使用しての報告が行われた。

続いて議事に入り、西澤十三夫常任幹事より「2007年度事業報告及び収支決算書」、丸井龍夫常任幹事より「2008

年度事業計画及び収支予算書」についての詳細な報告が行われた。

その後、総会に参加した各支部代表から各支部の活動状況についての報告が行われた。今年5月18日に10番目の支部として設立された三重支部の中須秀治支部長から設立にいたる経緯を含めた

挨拶が行われると、会場からは大きな拍手が送られた。

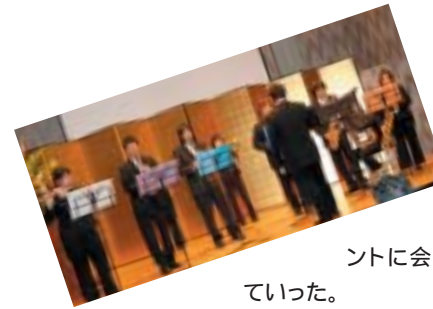
最後に、八瀬林肇常任幹事から閉会の挨拶があり、午後5時15分、第10回校友会総会は無事閉会した。

吹奏楽部の華麗な演奏に聴き入り 豪華賞品に一喜一憂 ややかな雰囲気懇親会

総会終了後、ホテルニューオータニ大阪「鳳凰の間」にて懇親会がスタートした。

北垣義弘幹事、三浦江美幹事の司会進行のもと、まず村下博校友会副会長(法学部教授)から開会の挨拶が行われ、続いて山田知子教育後援会会長から祝辞があった。そして、中須秀治三重支部長による乾杯の音頭で懇親会が始まった。

各テーブルでは久々の再会ということもあり、同級生の輪・先輩後輩の輪・卒業生と教員の輪など、あちらこちらで終始和やかな懇談の光景が見られた。しばし歓談の後、北垣、三



浦コンビにトラッキーまで加わり、参加者に突撃インタビューを行った。沢山の卒業生、在学生からの近況報告やコメントに会場の雰囲気も徐々に盛り上がっていった。

つづいて吹奏楽部による演奏が行われた。美しい旋律とアンサンブルに会場からは盛大な拍手が起った。盛り上がり最高潮に達したところで、今年もやってきました大抽選会!! 三戸泰樹幹事の司会進行のもと、大抽選会がスタートした。

大抽選会の商品には、液晶テレビ・ディナー食事券・ゲーム機器などの豪華賞品の他に各地方支部が用意した特産品が準備された。司会の軽妙なやりとりに会場は笑いに包まれ、会場の参加者は自分に豪華賞品が当たらないかと真剣なまなざしで抽選の行方を見守った。

抽選番号が読み上げられると悲喜こもごもの場面が展開され、会場は大いに盛り上がった。

最後に、卒業生・在校生・教職員全員で校歌「われらが白き学舎に」を熱唱し、懇親会が締め括られた。参加した校友達は、また来年も再会することを約束し、懇親会会場を後にした。



形で連携をし、校友会活動を積極的に行っていきたくと思っています。

私も10年という長きに亘って会長を務めさせて頂いておりますが、来年はこの校友会が設立されて10周年になります。「出合いは人を変え、時は人を育てる」。私の好きな言葉ですが、今後ますます卒業生の輪が広がり、校友会が現役の学生の何かの力づけになるよう、また母校に何らかの形で協力できるような組織でありたいと願っております。

最後に本日は本当にお忙しい中、たくさんの方々にご参加頂きましたこと、改めて御礼申し上げます。

地域連携が大きく進展



大阪経済法科大学 学長 藤本和貴夫

本学は、1971年以来、およそ3万8千名の卒業生を社会に送り出してきました。しかし現在、日本社会の少子化が進むなかで、大学間の競争はますます激しさを増しています。そのようななかで、大阪経済法科大学をより発展させるためには、本学の個性をさらに伸ばし、教育研究の実績をいかにアピールできるのかにかかっています。

ここ数年、本学が重点的に取り組んできたのは、学生諸君の将来の進路や関心、職業選択に配慮した教育プログラムをいかに整備するかにありました。その第1の成果はコース制の導入です。現在、法学部には、法曹、公務員、企業人、生活環境の4コース、経済学部には、ビジネス、総合経済、会計ファイナンス、ITキャリアの4コースがありますが、これらは現在の社会的ニーズに応えるものであり、学生諸君からも好評を博しています。

第2は、これらの正課授業と密に連携した本学独自の特修講座(Sコース)の強化です。本学は「一人多資格」を掲げて健闘してきましたが、昨年度の資格・検定試験の合格者は、公認会計士現役合格をはじめ、2003年度の2.8倍にあたる843名となりました。

第3は、新入生の大学教育への適応を促進する「初年次教育プログラム」の充実です。その中心となる大学演習は、教員、職員、上級生の3者が一体となって、新入生が入学時のモチベーションを堅持し、学力の向上に励むことができるよう支援するものです。

さらに、「学習支援センター」は学生諸君のあらゆる問題に対する相談窓口の機能を果たしています。また、教育の質を向上させるため「大学教育開発支援センター」も設置しました。また、活発な国際交流も続けており、本年度は米国カンザス州立エンポリア大学と交流協定を結びました。

近年、大きく展開しつつあるものに、地域との連携があります。地元八尾市との間では、図書館と国際交流センターとの連携協定の締結、本学を会場とする「八尾環境フェスティバル」の開催、絶滅危惧種である「ニッポンバラタナゴ」の保全など、環境問題を軸とした多くの取組みが進んでいます。

校友会の皆様には、今後とも、後輩たちのためにご支援ご鞭撻をよろしく願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

出合いは人を変え、時は人を育てる



大阪経済法科大学校友会 会長 伴井敬司

本日は非常に暑い中、多数の方々にお集まりいただきました。卒業生の皆さんが約120名、それに学校関係、在校生の方々等で約170名という規模で本日の総会を開催できることを非常にうれしく思っております。本当にありがとうございます。

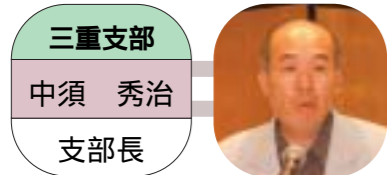
また、本日の総会開催にあたりまして、今年5月に発足しました三重支部はじめ、全国に10支部あります校友会支部より8支部から支部長、もしくは支部役員の方が遠路お見え頂いてい

ます。あわせて御礼申し上げます。

皆様方と直接的に係わる機会、この総会以外に経法祭がありますが、こちらにも積極的に参加しようということでここ数年、校友会テントを設置し、模擬店を設営しております。昨年度は約60名の方が来校され、その中で女性校友の集いを開催したいという声があがり、今年の2月に大阪市内のホテルで食事が開催されました。

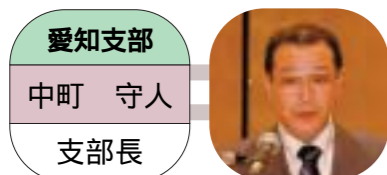
当日は約30名の女性校友の方々の積極的なご参加により盛会となり、その中から新しく校友会活動に参加したいという方もおられまして女性幹事の増員となりました。現役の学生諸君と何らかの交流の場を持つ、卒業生同士の交流の場を広めようという大きな動きの中で、校友の輪が広がりとつあるなど実感しております。

また、事務局の強化ということで、事務員を採用するなど、こちらも着々と体制を整えており、今後は教育後援会ともいろいろな



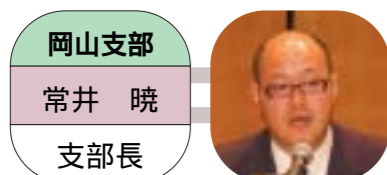
三重支部
中須 秀治
支部長

今年5月18日に発足したばかりでまだ大きな活動はないが、6月12日に第1回役員会議を開催し、今後の活動方針を協議した。当面の活動としては9月末に経法祭に向けての役員会を開催し、支部として積極的に参加、協力したい。他支部とも協力し、校友会発展に力を注ぎたい。



愛知支部
中町 守人
支部長

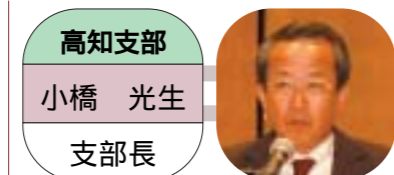
今年は愛知にて全国支部長会議が8月に開催される。各支部のさらなる活性化に向けて積極的な意見交換を期待したい。また今年5月に支部総会が開催されたが、参加人数が他支部より少ないので、今後がんばって1人でも多くの校友に参加してもらえよう、役員みんなで盛り上げていきたい。



岡山支部
常井 暁
支部長

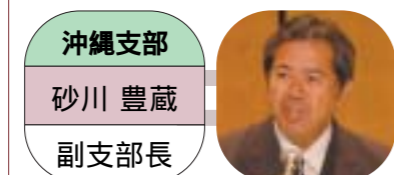
昨年は全国支部長会議に出席。支部総会を開催。今年7月に教育後援会との共催で父母懇談会に参加し、就職支援や学生生活についての講演を行った。これは岡山支部の今後に向けての展開を考えるきっかけとなるよい機会であった。来月は全国支部長会議に出席、秋には支部総会開催の予定となっている。できる力を限りなく発揮し、母校のために寄与したい。

支部長・支部役員 挨拶要旨



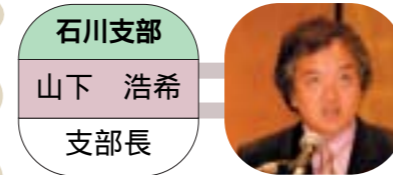
高知支部
小橋 光生
支部長

今年6月に支部総会を開催し、今年も経法祭に参加することを決定した。また父母懇談会では高知の就職状況や企業情報などを報告した。高知は総会への出席者が多いものの、人集めはやはり難しい。高知のおいしい「お酒」をえさに「1本釣り」で一入りに声をかけ、つながりを広げようと努めている。大学、在学生、卒業生に貢献できることを目標に取り組んでいきたい。



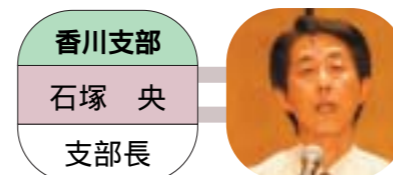
沖縄支部
砂川 豊蔵
副支部長

今年3月に支部総会を開催。新しい役員が入り、徐々に広がりを見せつつある。また6月には父母懇談会が開催され、父母の方々といろいろな情報交換をした。それぞれ多忙な役員が一同に集まることは難しいが、毎月定例で、参加できるメンバーだけでも集まろうという話が進んでいる。また、現役学生のクラブキャンプ等の支援にも力を注ぎたい。



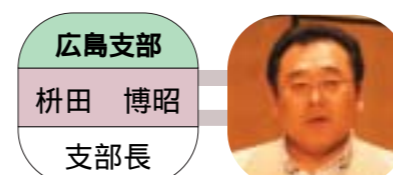
石川支部
山下 浩希
支部長

昨年11月に支部として経法祭に模擬店を出店した。今年3月に支部総会、6月には金沢で開催の父母懇談会に参加した。校友会は出会いの場であり、再会の場でもある。今後も校友相互の交流、親睦を深め、また同時に現役学生との交流、支援等をはかりたいと考えている。



香川支部
石塚 央
支部長

昨年は香川で全国支部長会議を開催、今年の3月には支部総会があり、様々な意見交換が行われた。また、今年の父母懇談会は支部役員が4名参加し、就職活動や学生生活等について、保護者との交流が持てた。今後、参加者の増加に向けての活動を行ってきたい。また、支部として現役学生の合宿などを積極的に応援、援助し、母校の発展に寄与できればと祈念している。



広島支部
柘田 博昭
支部長

今年7月に支部総会を開催した。今回は父母懇談会と同日開催し、保護者と活発な意見交換を行うことができた。支部活動への参加人数が少しずつではあるが増加し、参加者の年齢層も広がりを見せつつある。今後、同期生やクラブを通じて校友への声かけを行い、支部活動の活性化につなげたい。また県内だけでなく、近隣他県とも協力して、校友会発展に寄与したい。



第3回全国支部長会議開催される

8月30日(土)名古屋市にある「名古屋クラウンホテル」において、第3回全国支部長会議が開催された。

会議には開催地である愛知支部から中町守人支部長、神戸剛、岸泰至両副支部長、新里靖沖副支部長、小橋光生高知支部長、石塚央香川支部長、柘田博昭広島支部長、常井暁岡山支部長、中須秀治三重支部長、山下浩希石川支部長、校友会本部から伴井敬司会長、村下博副会長、安田公治副会長、前吉克明常任幹事(組織部)、西澤十三夫常任幹事(事務局)、田中詩織さん(事務局)が参加した。

愛知支部の神戸副支部長の司会で開会し、冒頭、伴井会長より「夏休み最後の土曜日という家族サービスをしなくてはならない休日に全国からお集まり頂いて感謝したい。2009年度に向けて10周年記念事業の準備もあり、今後の校友会事業発展のために積極的な話し合いをして頂きたい」旨の挨拶があった。

続いて開催地愛知を代表して、中町支部長から歓迎の挨拶があり、また村下副会長(学長補佐)からは文部科学省の高等教育政策を軸とする全国的な大学を取り巻く情勢、本学の近況及び少子化時代に対応した本学の将来像等について、挨拶を兼ねた報告があった。続いて、西澤常任幹事より2008年度校友会事業計画及び支部活動状況等について報告・説明があった。

以上の報告・説明をもとに討議に入り、2009年度に展開予定の校友会設立10周年記念事業の企画、校友会活動の現状把握と活発化に向けた課題等について熱心な討議が行われた。討議の中で出された主な意見は以下の通り。

- 10周年記念事業について
 - ・卒業生、在学生向けに校友会主催であることがはっきりわかるイベントを企画実施してはどうか(例えば、10周年記念Weekとして講演会や種々のイベントを実施し、最終日に懇親会を行う等)
 - ・10周年記念事業を機会に校友会の意義や楽しさを浸透させ、地方支部の拡大に努める。

・10周年を期に、校友会の将来を見据えた次世代の担い手育成プログラムを発足させる。

校友会活動の活性化について

・卒業生はもちろんのこと、在校生に対しても校友会の活動をアピールし、認知度を向上させる。経法祭など

に各支部のブースを設け、在学生のUターン就職を含めた相談コーナーの設置なども考えられる。

・在校生に対する学生生活や就職活動支援等で係わりを深める。とくに就職支援では、1)具体的な就職情報紹介、2)社会人としての心構えの伝授、といった支援が可能である。

・支部相互の交流を活発化する。
・支部活動の活性化には、支部役員が集まる機会をできる限り多くもち、支部長だけに頼らない連絡・事務体制を確立する。等、活発に討議され、約2時間余にわたる会議を終了した。

討議終了後、午後5時半から同ホテル「桜の間」で懇親会が開催された。

愛知支部の岸副支部長の乾杯の挨拶の後、参加者一同で歓談した。初めて参加する支部長もいる一方、第1回から継続して参加している支部長もいて、和気あいの雰囲気の中で交流が行われた。

また、1期生の中町支部長が卒業アルバムを持参され、回覧しながら創設期の校舎や周辺の様子、学生生活の思い出を語り合い、今後の校友会の発展を期して散会した。



2008年度 校友会事業計画

2008年6月7日開催の校友会幹事会で承認された2008年度校友会事業計画及び収支予算書は以下の通りです。既に実施済みの事業については、概略を記載しています。

1 第10回校友会総会・懇親会の開催

前年より多い170名が参加して、節目の第10回校友会総会・懇親会を盛大に開催した。

日 時:2008年7月19日(土)

場 所:ホテルニュー・オータニ大阪

詳細については2-4頁をご覧ください。



2 組織支援(支部活動等)

1)支部活動支援

全国10支部において支部総会の定期開催や支部独自企画など、各支部の活動がより活発になるように組織的支援を行う。

2)地域支部・職域支部等の設立支援

新たな支部づくりと職域支部設立に向けた支援を行う。懸案の東北支部など、地域支部・職域支部設立の要望のある地域と協議を行い、具体的な支部設立を支援する。

3)女性校友の集いの開催

「女性校友の集い」を継続実施するとともに、実施主体の強化を図る。

4)全国支部長会議の開催

各支部の取組の経験交流や支部間の連携強化を図ることを目的として、第3回全国支部長会議を愛知県を会場として、2008年8月30日(土)に開催した。全国8支部から16名の支部長及び本部役員が参加して活発な議論が行われた。

詳細については、5頁をご覧ください。

5)地方父母懇談会への協力

全国6地域で開催された下記の父母懇談会に校友会支部として参加し、教育後援会会員と懇談を行った。

6月29日(日):高松、那覇、(金沢は協力)

7月6日(日):岡山、広島、高知

3 会報・広報について

1)校友会ホームページの充実

行事予定、活動報告、各地方支部の情報など、定期的に内容を更新し、校友に新しい情報を発信する。校友会伝言板を活用した校友との双方向コミュニケーションを活性化させる。

2)校友会報第13号の発行

校友会報第13号を10月に発行し、校友会全員に配布する。

3)校友会紹介リーフレットの作成、配布

卒業生・入学生に校友会を紹介するリーフレットの内容をより充実させ、配布方法も検討する。

4 学生支援事業について

1)校友会奨学金

5月30日開催の選考委員会において、2008年度校友会奨学生8名を採用した。

次年度に向けて、現行の校友会奨学金制度の見直し、校友会奨学金としての独自性を出せるよう検討する。

2)経法祭参加企画

校友相互の交流の場及び在學生に校友会の存在をアピールする場として経法祭を積極的に活



用する。
ホーム
カミングデ

ーとしても位置づけ、校友が多く参加できるよう呼びかける。企画部会を中心に経法祭実行委員会と早期に調整を行い、企画内容及び支援内容を決め、実施する。

詳細については、16頁をご覧ください。

3)卒業記念品の贈呈(学位記カバ-)

卒業生に校友会のネーム入り学位記カバ-を贈呈する。

4)卒業式祝賀企画

卒業式終了後、卒業生が同級生、教職員と懇談ができるよう軽食を提供する。



5 10周年記念事業について

2009年度が校友会設立10周年となることを記念して、各種の祝賀行事を企画・実施する。そのために10周年記念事業委員会を設置し事業を準備する。

10周年記念事業のうち2008年度中に先行実施する企画については、幹事会の承認を得て、必要経費は10周年記念準備経費予算から支出する。

2008年度校友会収支予算書

2008年4月1日から
2009年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 校友会費				
準会員	16,450,000	17,155,000	705,000	
正会員	300,000	300,000	0	
特別会員	100,000	100,000	0	
2. 懇親会参加費	300,000	300,000	0	
3. 受取利息	22,400	5,622	16,778	
小計	17,172,400	17,860,622	688,222	
前年度繰越金	9,014,768	7,967,778	1,046,990	
収入の部合計	26,187,168	25,828,400	358,768	

支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 総会				
総会等運営費	2,150,000	2,000,000	150,000	総会・懇親会開催費
印刷製本費	72,000	70,000	2,000	案内状印刷費
旅費交通費	600,000	500,000	100,000	支部役員等旅費
通信費	1,400,000	1,400,000	0	案内状発送費
2. 幹事会				
会議費	300,000	300,000	0	幹事会、常任幹事会等
旅費交通費	300,000	300,000	0	支部役員等旅費
3. 支部活動等支援				
会議費	800,000	1,100,000	300,000	支部総会開催費等
旅費交通費	950,000	1,400,000	450,000	支部総会旅費等
活動援助費	400,000	750,000	350,000	支部活動補助等
支部設立準備費	300,000	500,000	200,000	
懇談会	250,000	400,000	150,000	父母懇談会開催費
4. 会報・広報				
印刷製本費	1,500,000	1,500,000	0	校友会報発行
通信費	1,600,000	1,800,000	200,000	校友会報発送費
報酬委託手数料	600,000	900,000	300,000	封入作業、HP制作費
5. 学生支援				
奨学金費	1,920,000	2,880,000	960,000	8名×2万円×12ヶ月
卒業記念品等	700,000	698,000	2,000	学位記カバ-贈呈
卒業祝賀企画費	1,000,000	2,000,000	1,000,000	卒業祝賀会開催費
経法祭企画費	300,000	300,000	0	企画運営費
学生生活援助費	350,000	740,000	390,000	学生生活援助、通信費等
6. 共通・事務費				
印刷製本費	100,000	100,000	0	封筒等
消耗品費	200,000	400,000	200,000	タックシール、FAX電話等
通信費	400,000	400,000	0	通信費、電話費等
報酬委託手数料	50,000	150,000	100,000	振込手数料
人件費	1,200,000	680,000	520,000	事務局アルバイト費
渉外費	100,000	100,000	0	
雑費	50,000	50,000	0	
7 10周年記念事業				
10周年記念事業備立金繰入	1,000,000	1,000,000	0	
10周年記念準備経費	300,000	0	300,000	
8. 予備費	1,000,000	500,000	500,000	
小計	19,892,000	22,918,000	3,026,000	
次年度繰越金	6,295,168	2,910,400	3,384,768	
支出の部合計	26,187,168	25,828,400	358,768	



今年も地域支部役員、父母懇談会で 在学生父母と懇談



毎年6月から7月にかけて、全国10会場
で在学生父母対象の
父母懇談会が開催さ
れる。校友会では、一
昨年からの父母懇
談会に参加して、ご父
母と校友会地域支部
役員との懇談を行っ
ている。2008年度は、
岡山支部、広島支部、
高知支部、香川支部、

沖縄支部、石川支部の計6支部から支部役員が参加した。

懇談会では、支部代表挨拶、支部役員紹介の後、懇談をおこなった。最初は、お互いが堅い表情であったが、時間が経つにつれ、和やかな雰囲気
で懇談が進められた。懇談では、学生時代の勉強や下宿生活、就職活動での苦
労話など、支部役員の話に、父母が興味深そうに聞き入っていた。当初は父
母と活発な意見交換が可能なのかと一抹の不安もあった。しかし、支部役員
が積極的に歩み寄り、父母と活発な意見交換が行われ、校友会地域支部の
新たな活動を展開することができた。



三重支部設立総会

2008年5月18日(日)、三重支部設立
総会及び懇親会が三重県松阪市、フ
レックスホテル3F「飛鳥の間」にて開
催された。

開会にあたり、伴井会長より全国10
番目の支部が今日ここに誕生すること、
また三重支部がこの地域の校友の出
会いの場となり、様々な形の交流が活
発に行われ、発展していくことを祈念
する旨の挨拶があり、続いて大学を代
表して橋本副学長が母校の近況と支
部設立の祝意を述べられた。

出席者の自己紹介の後、北垣幹事よ
り三重支部設立に至る経緯説明があり、
西澤常任幹事から校友会事業及び校
友会会則等の説明の後、三重支部規約、
支部役員について提案があり、原案ど
おり承認された。

最後に新しく選出された三重支部
の中須支部長より、支部役員の方々と
力をあわせて支部を発展させていき
たいとの力強い挨拶があり、支部総会
は終了し、懇親会へと移った。

懇親会は和やかで楽しい雰囲気の中
進行し、在学中の思い出を語り合う
校友たちの姿がみられた。出席者の1
人が持参した卒業証書と卒業アルバ
ムを披露すると、当時教鞭をとられた
先生方やクラブ活動のことなど、懐か
しい話題で盛り上がった。

三重支部設立総会



高知支部総会



福本名誉教授(校友会
常任幹事)から大学の
近況報告があり、その後

高知支部5回目の支部総会が、2008
年6月28日(土)、高知新阪急ホテルに
て開催された。今回の開催にあたり、1
人でも多くの校友に参加してもらいた
いという思いから、支部幹事有志がそ
れぞれ手分けして電話等で校友に参
加を呼びかけた。その結果、懇親会や
2次会からの参加者等、新しいメンバ
ーが加わり、支部役員を中心に高知の
校友の輪を広げることができた。

支部総会は出席者の自己紹介の後、

小橋支部長より「昨年高知支部として
初めて経法祭に参加し、母校がソフト面・
ハード面で大きく成長、発展した姿を
見て感動した。これからも校友の皆が
誇れる大学になるよう、応援してい
きたい」との挨拶があった。その後20
08年度の校友会事業について八瀬林
常任幹事より概要説明があり、引き続
いて今後の支部活動について活発な
意見交換が行われた。会場を移しての
懇親会では和やかな雰囲気の中、大学
時代の懐かしい思い出や母校の発展
ぶり、それぞれの近況などを語らい、時
の経つのを忘れるほど楽しい時間を
過ごした。

広島支部総会

2008年7月6日(日)、第6回校友会
広島支部総会及び懇親会が三井ガー
デンホテル広島で開催された。

定刻午前11時に栢田博昭支部長か
ら開会挨拶が行われた。続いて、大学
代表として永平幸雄学長補佐兼教務
部長から大学の近況報告を兼ねた来
賓挨拶があった。その後、支部総会出
席者からそれぞれの自己紹介及び近
況報告が行われた。

議事では、丸井常任幹事が、2008年
度校友会事業について報告し、引き続
き、今後の支部活動について活発な意
見交換が行われた。続いて栢田支部
長から、「第4期広島支部役員は、第3
期支部役員の留任及び今後の支部活
動活性化のために、本日出席の校友を
新幹事に推薦したい」との提案があり、
承認された。

第 部の懇親会は、当日同会場にお



いて開催されていた父母懇談会出席
の在学生父母も参加して行われた。

懇親会は、政宗正章副支部長の乾
杯の音頭で開会した。保護者にとって
子弟の就職が大きな関心事であり、懇
談の中では卒業生の就職活動体験や
勤務先等について質問が相次いで寄
せられた。約2時間にわたり和やかな
雰囲気の中、校友と父母が親睦を深め
た。最後に橋高功副支部長から閉会
の挨拶があり、散会した。

愛知支部総会

2008年5月17日(土)、第4回校友
会愛知支部総会・懇親会が名古屋
国際ホテル2F「葵の間」で開催され
た。

大谷支部幹事の司会により開会
され、中町支部長より、愛知支部は
本学の学歌の歌詞のように「君に会
えてよかった」といえるように、様々
な出会いと交流が行える場にしたい
旨の挨拶があった。その後、出席
者全員が自己紹介し、それぞれの近
況などが報告された。



議事では、西澤常任幹事より、大
学案内やリベラ、校友会報等の配布
資料をもとに、母校の近況及び校友
会事業について報告がされ、その後、
任期満了に伴う愛知支部の役員改
選が行われた。役員改選では中町
支部長から、基本的に現在の支部
役員は留任することとし、本日欠席
の支部役員については支部長が責
任をもって確認すること、副支部
長の岡芳紀氏の後任として岸泰至
幹事を新たに副支部長に選出する
ことが提案され、承認された。支
部総会終了後、会場を移して懇親会
が行われ、食事をしながら在学時代
の思い出や現在の大学の様子など
の話題に花が咲き、和やかな交流が
行われた。



母校の近況

母校の近況

2007年度 資格・検定試験合格者祝賀会を開催

2008年1月16日(水)、ルーズベルト大学記念館大食堂において、「2007年度資格・検定試験合格者祝賀会」が開催された。

今回の祝賀会には、公認会計士に現役合格した菊川和紘(経済・4年)さん、北海道大学法科大学院に合格した今井武大(法・4年)さん、社会保険労務士試験に合格した林厚雄(法・3年)さんをはじめ各資格・検定試験に合格した学生・教職員約330名が集まり、会場が熱気に包まれる中、盛大に合格を祝賀した。

祝賀会では、最初に藤本和貴夫学長から祝辞が述べられた後、合格者を代表して4名の学生に表彰状が贈られた。また、教育後援会を代表して常本光男会長から、公認会計士・法科大学院・公務員試験などの難関試験合格者に、記念品が贈呈された。



その後、和やかな雰囲気の中歓談が行われ、学生が各講座でお世話になった担当講師や教職員と喜びを分かち合う光景がいたるところで見受けられた。

2007年度の資格・検定試験合格者は、公認会計士・法科大学院・公務員(裁判所事務官種、警察官・消防官など)・社会保険労務士、宅地建物取引主任者、初級システムアドミニストレータ、その他語学系・福祉系・スキルアップ系試験など、合計843名となり、昨年度をさらに上回る結果となった。

CIW試験に76名が合格! 初級シスアド試験に25名が合格!

本学では、2007年度からIT副専攻プログラムをスタートし、より高度な情報教育を学生に提供している。

このプログラムは、所定の科目を履修し、「初級システムアドミニストレータ(初級シスアド)」などの情報系資格取得をめざすもので、まずインターネットの世界標準資格である「CIW Foundation試験」に合格し、構造改革特区認定講座の修了認定を受け、初級シスアド試験の午前試験免除を最初の目標に設定している。

2007年度は、このIT副専攻プログラムのカリキュラムで受験対策を行い、見事76名が「CIW Foundation試験」に合格した。さらに35名の学生が、構造改革特区認定講座の修了認定を受け、初級シスアドの午前試験免除の認定を受けることができた。彼らは2008年4月実施の試験に向け、午後試験の受験対策を十全に行い、見事初級シスアド試験に25名が合格した。

全日本テコンドー選手権大会で3階級& 全日本学生テコンドー選手権大会で 4階級制覇

2007年12月8日(土)、東京の駒沢体育館で、学生・社会人が参加して行われる「全日本テコンドー選手権大会」が開催され、本学テコンドー部(男子)が8階級中3階級での優勝を含め、5名が入賞を果たした。

また、2008年2月10日(日)に同会場で開催された「全日本学生テコンドー選手権大会」でも、8階級中4階級を制覇(延べ10名入賞)し、本学テコンドー部の名を全国に轟かせた。

今後も、テコンドー部の更なる飛躍と活躍を期待したい。



【全日本テコンドー選手権大会(2007.12.8)】

成績	階級	氏名
優勝	男子フライ級	李 愨昞(経済・4年)
優勝	男子バンタム級	丁 保升(経済・4年)
優勝	男子ライト級	姜 仁喆(経済・4年)
準優勝	男子フィン級	姜 東澈(経済・1年)
第3位	男子ミドル級	美馬 健(経済・4年)

【全日本学生テコンドー選手権大会(2008.2.10)】

成績	階級	氏名
優勝	男子フィン級	姜 東澈(経済・1年)
優勝	男子バンタム級	丁 保升(経済・4年)
優勝	男子フェザー級	李 愨昞(経済・4年)
優勝	男子ウェルター級	姜 仁喆(経済・4年)
準優勝	男子フィン級	亀井 駿(経済・4年)
準優勝	男子ミドル級	美馬 健(経済・4年)
準優勝	女子フライ級	木下菜摘(経済・1年)
第3位	男子フィン級	黒岩勇祐(法・3年)
第3位	男子フライ級	石之大貴(法・2年)
第3位	男子ウェルター級	木挽隆宏(経済・3年)

阪南キャンパス施設竣工(教育・研究・課外活動などの拠点として活用)



野球場

れとともに参列者から大きな拍手が送られた。

今後、阪南キャンパス施設が、教育・研究・課外活動、ゼミ合宿や国際交流などの幅広い活動拠点として、活用されることが期待されている。

【阪南キャンパス施設概要】

所在地；大阪府大阪市箱作2825-2
敷地面積；約249,000㎡(約75,000坪)
セミナーハウス管理棟1棟 セミナーハウス宿泊棟3棟
野球場1面 メイングラウンド1面 サブグラウンド2面

本学の創立記念日にあたる4月26日(土)、大阪経済法科大学阪南キャンパス施設竣工式が、大阪府大阪市箱作にある阪南キャンパスメイングラウンドで挙行政された。

当日は、大学関係者をはじめ阪南市長、阪南市関係者、工事関係者、近隣の自治会関係者など、多くの関係者が出席し、メイングラウンドに設置された特設テントで神事が執り行われた。神事終了後、施設竣工を祝してテープカットおよび記念投球セレモニーが野球場で行われ、藤本学長の投げた球が学生の構えるミットにおさまると、吹奏楽部のファンファー



管理棟(左)と宿泊棟(右)



母校の近況

第50回関西学生卓球新人大会 女子卓球部がシングルスと団体で 2冠達成!



団体戦優勝を果たした出場選手

2008年5月3日(土)・4日(日)の2日間、松下電器体育館(枚方市)で、第50回関西学生卓球新人大会が開催され、女子卓球部がシングルスと団体戦で優勝を果たし、見事2冠を達成した。

現在、関西学生卓球春季リーグ戦(男女とも1部)でも、上位校相手に互角の戦いを見せるなど、今後の卓球部の活躍がさらに期待される。

- 【女子】
団体戦 / 優勝
シングルス / 優勝
下之段志保(経済学部2年生)選手 佐々木健次郎(経済学部2年生)選手
- 【男子】
団体戦 / 3位
シングルス / ベスト8
大場隆弥(法学部3年生)選手
大場隆弥選手は「優秀選手賞」を受賞

第42回関西学生空手道 個人選手権大会 空手道部が好成績を収める

4月29日(火)、兵庫県立総合体育館で開催された第42回関西学生空手道個人選手権大会で、空手道部が強豪大学の選手を相手に互角の戦いを繰り広げ、見事好成績を収めた。



女子58kg超級 / 第3位
梅木香奈
(法学部2年生)選手



男子75kg超級 / ベスト8
大場隆弥(法学部3年生)選手
大場隆弥選手は「優秀選手賞」を受賞

21世紀社会研究所・地域総合研究所を新たに開設

学際的・総合的研究を推進

2008年4月、21世紀社会研究所(所長:高博教養部教授)及び地域総合研究所(所長:沢勲教養部教授)が新たに開設された。

地球温暖化や平和問題などの諸問題について、学際的研究を展開

21世紀社会において、人類は、世界人口の増加と物質的豊かさの追求の結果、地球規模の環境問題、資源・エネルギー問題などをはじめ、社会、経済、政治の各方面において様々な問題に直面している。

21世紀社会研究所は、このような現代社会が抱える様々な諸問題について、学際的研究を展開することを目的に設立された。21世紀社会の諸問題に関する共同研究・調査・研究プロジェクトを立ち上げるとともに、研究会や公開講座、シンポジウム等を開催し、定期刊行物の発行や国内外研究機関との交流など、活発な研究活動を展開していく。

大学での教育研究成果を地域社会に提供、地域が抱える諸問題を解決

教育研究の成果を広く社会に提供し、もって社会の発展に寄与することが求められている。

本学は創立以来、地域を対象にした公開講座、IT講習会、市民無料法律相談の実施など、社会貢献、地域連携の取組を展開してきた。

地域総合研究所は、地域の歴史、文化、産業、教育、福祉などにおいて学際的、総合的にアプローチするため、共同研究・調査・研究プロジェクトの立ち上げ、研究成果の公開やシンポジウム等の開催、地域貢献事業の推進など、多彩な研究活動を展開していきます。

母校の近況



ハワイ大学マノア校と交流協定を締結



9月5日(金)、本学とハワイ大学マノア校との交流協定調印式が、ハワイ大学マノア校で執り行われた。今回の調印式には、藤本和貴学長と能塚正義経済学部長が本学を代表して出席し、藤本学長とバージニア・ヒンショー・ハワイ大学

マノア校学長が協定に調印した。

本学とハワイ大学マノア校とは、1987年以来ウィリアム・S・リチャードソン法科大学、ハワイ・アジア・太平洋研究院などカレッジレベルで協定を結び、国際学会議の共催、研究者の相互派遣、交換留学生の派遣、英語語学研修の実施など活発に交流を進めてきた。

これまでの交流の経緯を踏まえて、ハワイ大学マノア校からのカレッジレベルの協定を大学全体との協定に格上げしようとの提案があり、検討の結果、本学もそれに合意し、今回の交流協定の調印となった。このたびの協定締結により、これまでの交流に加えて、同校のすべての学部・カレッジへの留学が可能となり、ハワイ大学からの留学生受入など両校の交流拡大が期待できる。

2007年度就職実績と2008年度就職展望

大学生(2007年度卒業生)一般の求人倍率は、前年度の1.06倍(リクルート調査)から1.89倍へと上昇。特に中小企業の求人が伸びており団塊世代の退職、景気の回復などが追い風となり、本学においても就職率は1993年当時まで回復している。2008年度の求人倍率(2009年3月卒対象)は、同じリクルート調査によれば、2.14倍と予想されており、引き続き売り手市場が続いている。しかし、原油高や原材料のコストアップによる収益悪化懸念が各業界に広がっており、2010年以降の雇用環境については黄信号が点灯している。

また公務員志向については、定員の削減や民間企業の活発な採用を反映して、全体として受験者は減少傾向にある。

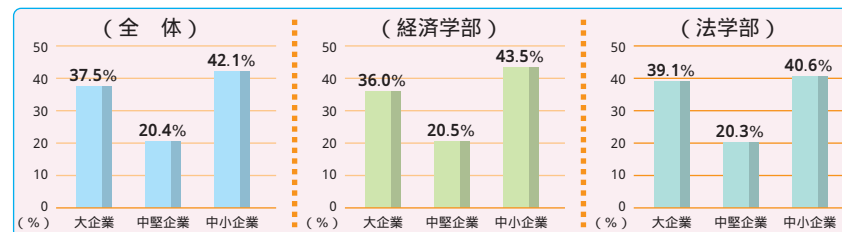
本学では、法学部を中心に引き続き公務員志望者が多いことから、2次試験(面接等)突破が当面の課題となっている。

特に警察官においては、結果的に体育会系クラブ出身者が多く合格していることから、組織における順応性を示すとともに元気で正義感溢れる態度を発揮することが必要となっている。



データで見る2007年度 卒業生進路・就職状況のまとめ(5月1日現在)

企業規模別就職状況



注)企業規模は資本金額を、大企業は10億円以上、中堅企業は1億円以上10億円未満、中小企業は1千万円以上1億円未満

就職希望者に占める就職率

学部	性別	就職率 (%)
全体		97.9%
経済学部	男子	97.6%
	女子	96.2%
法学部	男子	98.0%
	女子	100.0%



小橋 光生さん

(1975年法学部卒業・1期生)
高知県中土佐町立矢井賀小学校 校長
校友会高知支部 支部長



教員になろうと思ったきっかけをお聞かせください?

実は最初から小学校の教員になろうと思ってなったわけではありませんでした。大学を卒業して、最初は東京にある教科書会社で美術(図工)の編集部勤務していたのですが、通信教育で教員免許を取得すれば何か仕事に役立つのではないかと軽い気持ちで学習を始めたのが、教員の道へ入るきっかけでした。

教員という職業のやりがいを教えてください。

教員として私が感じているやりがいは、第一に、次世代を担う人間育成に関わることができる、第二に教育を通して子どもたちに次世代の夢を託すことができるということです。関わっている子どもたちや保護者が幸せになる姿を想像しながら、現実を正面から見つめて学校運営のことを考え、実行することが、私のやりがい(生きがい)になっています。

現在の仕事の内容を紹介してください。

校長になって10年。児童数が380名の小学校を振り



出しに、620名、70名、そして、2007年度から8名という極小規模の小学校まで、さまざまな小学校で校長をしてきました。どの学校でも共通していることは、「コミュニケーションが上手くとれない。粘り強さが無い」といった児童が増えてきていることです。そのため、総合的な学習の時間に体験学習を多く取り入れたり、多くの人と触れ合うことを意図的に取り入れた活動を行っています。また、少子化に伴う学校統廃合問題にも取り組んでいます。

在学中はどのような学生生活を過ごしましたか?

2年生の時から本格的にアルバイトを始め、サーフィンに没頭しました。また、国内外を問わずいろいろな所を旅行しました。それに今までの人生の中で最も集中して数多くの本を読んだのも学生時代でした。

3年生の春学期までには卒業単位をほとんど取得していたので、4年生の時はゆとりを持って学生生活を送ることができました。

今振り返ると、経法大で学べて良かったと思えることは、身近に役立つ法知識が取得できたこと、結果重視ではなくプロセスの大切さを学ばせてくれたこと、大学で学ぶこと以外の多くの学習体験ができたことなどがあります。私の社会人としての原点が、経法大にあると思っています。

最後に校友の皆さんにメッセージをお願いします。

高知支部長を務めさせてもらうようになって4年目になります。それまでは、経法大のことは遠い過去のことであり、あまり考えたことはありませんでした。支部長になって後輩たちと交流を深めていく中で、後輩たちが大学について「経法・経法」と明るく誇らしげに話していることが不思議でなりませんでした。

しかし、第3回の高知支部総会の折りに、大学紹介のDVDで施設の変貌ぶりや在学生の姿を見て、納得することができました。また、昨年11月の「経法祭」に高知支部役員と参加

して、母校の発展した姿を実際に確かめることもでき、経法大を卒業して本当によかったという喜びと母校への誇りのようなものを感じることができました。

今後は、微力ではありますが、高知支部会員と共に協力し合い、大学発展のために少しでも寄与していきたいと考えています。



浅尾 友美さん

(1994年法学部卒業)
ライオン橋法律事務所事務局員

裁判所見学で法曹界に興味を持ち卒業後は法律事務所事務局員となり、1児の母として家庭と仕事を両立して活躍する、笑顔の素敵な浅尾さんにお話を伺った。

どんな学生生活を過ごされましたか?

1回生の基礎ゼミ(橋本ゼミ)で、裁判所見学に行き、裁判を傍聴しました。その時、そこで働く職員さんを見て、『こういう仕事っていいな』と思い、その時から法曹界への憧れがありました。また、教師になりたいという希望もあり、教職課程も履修していました。

大学の授業では、長谷川正安先生の憲法はとてもわかり易くて好きな講義でした。アルバイトも時々やりました。特に印象的な仕事は空港のチェックイン業務(JAL)です。当時は旅行業界にも興味があり、なかなか出来ない経験をさせていただきました。実は学生時代1回も海外旅行には行かなかったことがなく、今でも、ちょっと後悔しています。

現在の仕事を選んだ動機はなんですか?

父親が警察官だった影響もあり、裁判所職員・警察官・教員等の公務員一本に絞って受験しました。しかし、すべて不採用になってしまい、どうしたらいいか分からなくなっていたとき、榎原先生から『法曹界の仕事をしたいなら大阪弁護士会へ履歴書を送りなさい』と言われました。

素直に履歴書を弁護士会へ郵送したところ、石田・佐井法律司法書士事務所で弁護士助手として採用していただきました。現在はライオン橋法律事務所に勤務しております。当時はパブル崩壊直後の就職氷河期といわれるほどの就職難の時代で、友達は大変苦労して就職活動を行っていました。私は民間企業への就職活動はしていなかったので、ちょっと気まずかったですね。

現在のお仕事について教えてください。

主に弁護士が裁判で使用される資料の作成や資料調査業務をしています。時には膨大な資料を短期間で作成しなけれ



ばならないこともあります。裁判で思い通りの判決を出た時は自分のことのようにうれしくなります。この仕事をやっていて本当に良かったなと思いますね。

女性だけの事務所のため、ほとんどの依頼者が女性です。DV事件の裁判では、被告の男性が女性の居場所をなんとか探そうとしたり、裁判結果に罵声を上げることも少なくなく、そんな時には、何とかしてこの異常な状況から救い出してあげたいという使命感を感じます。

私たちの仕事はあくまでも弁護士のサポートのため、仕事上で辛かったことはあまりありませんが、最初の頃はヤミ金業者の脅しの電話が怖くて電話が鳴らないようにと祈ったこともあります。(笑)

今後の目標として、現在の仕事に役立つ資格を取得したいと考えています。



インターンシップ学生を指導する浅尾さん

最後に校友会会員の皆さんにメッセージがあればお願いします。

『女性会員の集い』に参加したら、同期の仲間がいなくて、ちょっと寂しかったので、私が幹事になってみんなを集めようとして自主的に幹事に立候補しました。『みんなが気軽に集まれる同窓会』というのが理想です。校友会総会に参加したら、子供と一緒に参加している校友がいて、私も来年は子供を連れて行きたいなと思いました。

女性校友の皆さんには、来年の校友会総会は家族連れでたくさんのご来場をお願いします。また、経法祭には校友会のブースもあるそうなので、今年は家族で参加して、数多くの校友の皆さんとお会いできるのを楽しみにしております。